



腹痛

観察のポイント

- 子どもは消化器官が発達していないので、便秘や消化不良を起こしやすいものです。
痛みの中ではよく起こるもので、赤ちゃんが訳もなく繰り返し無く時は、お腹が痛い可能性があります。
また、子どもはどこが痛いとうまく伝えられない時に、お腹が痛いと伝えることがあります。
泣き声や表情、姿勢などをよく観察しましょう。

《よくある腹痛の原因》

乳児:「便秘」「腸重積」「そけいヘルニア」

幼児:「便秘」「腸重積」「急性胃腸炎」

学童:「便秘」「虫垂炎」「急性胃腸炎」

腸重積………腸が腸の中に潜り込み、腸が畳み込まれた状態になり、働かなくなる病気

そけいヘルニア…足の付け根から腸などがはみ出す病気

急性胃腸炎……胃腸が炎症を起こし、吐いたり、下痢をしたりする病気

虫垂炎…大腸の先端にある虫垂という部分が炎症を起こし、腫れ上がったりする病気(盲腸)

A decorative header consisting of five circles in a row. From left to right: a solid light purple circle, an outlined light purple circle, a solid light purple circle, an outlined light purple circle, and a solid light purple circle. The text 'しばらく様子を見てもよい場合' is centered over the first three circles.

しばらく様子を見てもよい場合

- すぐに軽くなって我慢が出来る痛みになった。
- 顔色も悪くない。
- 浣腸や排便をするとおさまって、全身状態がよい。

早めに救急外来を受診した方がよい場合

- ぐったりして泣いてばかりいる、うめくように泣く、大声で泣けない。
- お腹をかがめて痛がる。お腹が痛くて歩けない。
- お腹を触ると痛がる。(触らせない)
- 嘔吐や激しい下痢、血便を伴っている。
- 赤ちゃんが足を縮めて泣きやまなかつたり、間隔をおいてまた泣く。
- 10～15分間隔で間歇的に痛がる。
- 陰囊(睾丸部分)が腫れて色が変わっている。

腹痛

次のうちどの症状がみられますか？

- 血便がみられる。
- おまた（陰囊、股の付け根）を痛がる。
- お腹をぶつけた、もしくは打った後の腹痛。
- お腹がパンパンにふくらんでいる。
- 不機嫌だ。
- コーヒーの残りかすのようなものを吐いた。
- 触ると痛がる。
- 泣きやまない。
- だんだんとひどくなる。
- 我慢できない痛み。
- 発熱がある。

この欄に1つ以上「はい」がある

小児科医のいる医療機関を受診してください。

- 数日、便が出ていない。
- おへその周りを痛がる。
- ウンチをしたら痛みがやわらいた。
- 我慢できる程度の軽い痛み。
- 元気そうだ。

この欄にしか「はい」がない

様子をみながら診療時間になるのを待って医療機関へ

ただし、症状が大きく変わったら小児科医のいる医療機関および休日夜間急患センター等を受診してください。